

一般会計予算決算常任委員会審査日程

日時 令和3年3月10日(木)

午後1時

場所 議場

- 1 議案第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）について
- 2 承認第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）に関する専決処分について

審査番号	項目	出席者
①	議案第1号に係る各分科会長報告・質疑	委員のみ
②	議案第1号に係る討論・採決	委員・執行部
③	承認第1号に係る分科会長報告・質疑・討論・採決	

■分科会長報告概要■

		令和4年3月定例会
		一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）について	
担 任 事 項	総務文教常任委員会所管部分	
概 要	今回の補正の主なものは、減債基金積立金、退職手当基金積立金、人件費、国県支出金の精算に伴う償還金等や決算を見込んだ調整である。	
論点又は審査 によって明らか になった事項	<p>【歳入】</p> <p>○6款 法人事業税交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県税交付金 6,000万円の増額 <p>○11款 地方交付税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通交付税 4億4,793万6,000円の追加交付に伴う増額 <p>○17款 財産収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市有地売払収入 2,817万4,000円の増額 <p>○18款 寄附金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと寄附金 1億3,000万円の減額 昨年度返礼品で人気のおせち料理3段重の申込みが競争相手の増加で減ったことによるもの。 <p>○19款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金繰入金 3億8,389万8,000円の減額 <p>【歳出】</p> <p>○人件費全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会計全体 153万8,000円の減額 (主な内訳) ・ 給料 609万3,000円の増額 人事異動等に伴う給料の増額等 ・ 職員手当等 310万2,000円の減額 普通退職手当2名分の増額と人事院勧告に基づく期末手当の減額 ・ 共済費 460万7,000円の減額 期末手当の減額 <p>○2款 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1項2目人事管理費 2,311万5,000円の増額 新型コロナウイルス感染症の拡大による職員研修費の減額と、 	

山口東京理科大学から1名、山口県から2名の職員派遣を受け入れたことによる派遣職員給与費負担金の増額

- ・1項4目情報管理費 1,663万9,000円の減額

軽微なシステム改修を外部委託せず職員で行ったこと、国道190号電線地中化で国が構築する共同溝に接続する連携管工事が令和4年度以降に延伸されたこと、情報システム等の移設内容を精査したことなどによるもの。

- ・1項8目財産管理費 5億1,412万6,000円の増額

- ・1項10目地域振興費 2億830万4,000円の減額

ふるさと寄附金1億3,000万円の歳入減額に伴うふるさと支援基金積立金1億3,000万円の減額、新型コロナウイルス感染症の拡大によるハロウィンイベントの規模縮小による開催経費の減額、今年度予定していた地域おこし協力隊員2名の着任が見込めないことによる募集・PR経費の減額など。

- ・1項14目防災費 308万円の減額

糸根川と厚狭川の2か所に設置予定の簡易水位計を県事業で設置することになったことによるもの。

- ・1項28目厚狭地区複合施設費 1,932万6,000円の減額

警備委託料と清掃委託料の落札減や、保健センターの空調機器の更新時に、既設器具を活用して経費を節減したことによるもの。

- ・4項5目市長選挙費 1,967万6,000円の減額

市長選挙が無投票となったことによるもの。

- ・4項6目市議会議員選挙費 2,059万4,000円の減額

立候補者が想定より少なかったことによるもの。

- ・7項1目大学費 250万円減額

薬学部に大学院を設置する手続を円滑に進めるため、運動場の整備を市でなく山口東京理科大学に行ってもらったことによるもの。

(主な質疑)

- ・「職員研修をリモートでできなかったのか」との質問に「受講対象職員が約80名おり、集まることを避けた」との答弁
- ・「派遣職員はどの課に配属されているか」との質問に「県からは税務課と文化スポーツ推進課に、山口東京理科大学からは商工労働課に配属されている」との答弁
- ・「サポート寄附の現状はどうか」との質問に「競合は大変厳しいが、新たな目線で返礼品を用意していきたい」との答弁
- ・「ポータルサイトの活用の再考は」との質問に「JTB等を含め探していくが、今のサイトとも連携していきたい」との答弁

- ・「スマイル・ハロウィンパーティーの映像作品を今後どのように活用するのか」との質問に「スタジオスマイルのユーチューブで随時公開している」との答弁
- ・「コロナ禍で事業縮小を余儀なくされているが、地域資源活用事業「ソル・ポニエンテ」について、少人数で回数を増やすことを検討してはどうか」との質問に「この事業に限らず、人数が余り多くなならないイベントを、地域資源を活用しながら行っていきたい」との答弁
- ・「市議会議員選挙の際に、入場券が届いていない人がいたと聞いた。どうなっているのか」との質問に「立候補届出日の一週間前には発送しているが、遅れて届いた人がいた。今後は、公示日までにきちんと届くように対応したい」との答弁

○7 款 商工費

- ・1 項 4 目 観光宣伝費

山口県央連携都市圏域事業負担金 1,094 万 2,000 円の減額
 ガラス作品の運搬・設置を一括発注して不用額が出たこと、クーポン券の利用が想定を下回ったこと、新型コロナウイルス感染症の拡大により一部の事業を中止したことによるもの。

○9 款 消防費

- ・1 項 3 目 消防施設費 1,445 万 9,000 円の減額

山陽消防署埴生出張所基本設計業務委託の落札減や、水道局による工事との関係で消火栓の改修を取りやめたことなどによるもの

○10 款 教育費

- ・2 項 小学校費 4,276 万 9,000 円の減額

小学校への GIGA スクールサポーター配置に係る業務委託料の減額、埴生小学校 ICT 環境整備事業費の増額、高千帆小学校校舎増築事業に係る落札減による減額など。

- ・3 項 中学校費 879 万 8,000 円の減額

中学校への GIGA スクールサポーター配置に係る業務委託料の減額、埴生中学校 ICT 環境整備事業費の増額、生徒と教員が県外で教育活動を行う予定がないことによる PCR 検査業務委託料減額

- ・5 項 社会教育費 1,395 万 4,000 円の減額

赤崎公民館屋根防水工事の落札減や、埴生地区複合施設整備事業の解体工事に伴う事後家屋調査を全世帯が希望されなかったことによる業務委託料の減額

(主な質疑)

- ・「今年度の GIGA スクールを総括するとどうだったか」との質問に「授業、生徒会活動、修学旅行などの学校行事で活用し、有効性を感じた。先生で得手不得手はあるが、今後も学校全体で取り組み、より効果的な活用を目指していく」との答弁
- ・「調査する家屋がゼロとなったが、仮に解体工事による影響があったとしても、市に責任はないということか」との質問に「解体工事によって損害が発生したことを証明できるものがないと、責任は取れない」との答弁

【繰越明許費補正】

- ・ 市内電話・市内放送管理事業 1,926万4,000円
受注企業と納品メーカーとの間で確認ミスがあり、納品が5月末まで遅れるため繰り越すもの。市の業務に支障は生じない。
- ・ LABV アドバイザリー業務 1,760万円
共同事業体設立までの支援業務を行うもので、設立が次年度になるため繰り越すもの。

■分科会長報告概要■

	令和4年3月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）について
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分
概 要	<p>今回の補正は、生活保護費国庫負担金償還金の増額など取り急ぎ措置すべき案件に加え、生活保護扶助費、山陽地区公立保育所整備事業費、地域外来・検査センター事業費や予防接種事業費の減額など決算を見込んだ調整である。</p>
論点又は審査 によって明らか になった事項	<p>【歳出】</p> <p>○ 2款 総務費</p> <p>* 1項 17目国際交流等推進費の322万6,000円の減額は、毎年行っている中学生海外派遣事業を新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して中止したことによるもの</p> <p>* 1項 20目自治会活動推進費 18節防犯外灯設置補助金100万円の減額は、自治会等の申請件数の減少によるもの</p> <p>* 3項 1目戸籍住民基本台帳費 11節通信運搬費186万6,000円の減額は、マイナンバーカード関連の通信運搬費の決算額を見込んだもの</p> <p>(主な質疑)</p> <p>* 「海外派遣事業は、オンラインの活用等を含め、全て中止したのか」との質問に「モートンベイ市が、コロナでロックダウンとなり、オンラインによる交流も断念した」との答弁</p> <p>* 「防犯外灯設置補助金の申請状況はどうか」との質問に「市全体で77.4%の外灯がLED灯となっている。近年、LED灯への切り替えスピードは鈍化しているが、補助制度は継続していきたい」との答弁</p> <p>* 「マイナンバーカードの交付率はいくらか」との質問に「2月1日現在の交付率は43.9%である」との答弁</p> <p>○ 3款 民生費</p> <p>* 2項 2目児童措置費 18節保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金673万4,000円の増額は、保育士等の処遇改善のため、令和4年2月から収入を3%程度、月額9,000円引き上げるため</p>

の措置を実施した保育所等にその費用を補助するもの

*2項4目保育所費14節工事請負費2,785万4,000円の減額は、主にねたろう保育園の建築主体・機械設備工事、電気設備工事が完了し事業費が確定したことと、外構工事の決算額を見込んだもの

*2項6目児童クラブ費12節設計委託料780万5,000円の減額は、小野田児童クラブ室整備事業における決算額を見込んだもの

*2項9目子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費18節子育て世帯生活支援特別給付金3,280万円の減額は、対象児童数の当初見込み1,051人に対し実績見込みが395人となることによるもの

*3項2目扶助費19節扶助費1億100万円の減額は、生活保護受給者数の減少によるもの

(主な質疑)

*「園用器具費595万円の減額の理由は」との質問に「ねたろう保育園の備品の購入費で落札減が出じたことによるもの。なお、統合前の3園の保育園の備品で今後も使用できるものは、ねたろう保育園に持っていく」との答弁

*「小野田児童クラブ室の供用開始時期はいつか」との質問に「令和5年度の供用開始を予定している」との答弁

*「子育て世帯生活支援特別給付金の対象児童数が、当初見込みの半分以下に減った理由は何か」との質問に「当初、国が示した方法で算出したが、実際には非課税世帯相当にまで収入が下がった方が大幅に少なかった」との答弁

○ 4款 衛生費

*1項1目保健衛生総務費12節妊婦健康診査委託料746万5,000円の減額は、対象者の減少によるもの

*1項7目新型コロナウイルス対策費12節検査委託料6,566万5,000円の減額は、地域外来検査センターにおける検査実績を見込んだもの

*2項2目塵芥処理費10節需用費1,040万円の増額は、環境衛生センターの焼却炉の部品等の交換や燃料の高騰、緊急修繕が必要となったことによるもの

*2項2目塵芥処理費17節機械器具費960万1,000円の減額は、パッカー車2台の購入にかかる落札減によるもの

*2項3目し尿処理費10節修繕料200万円の減額は、小野田浄化センターの破碎機の修繕にかかる落札減等によるもの

(主な質疑)

*「地域外来検査センターでの検査件数は何件か」との質問に「令和3年度は、2月24日時点で506件である」との答弁

【繰越明許費】

- * 社会保障・税番号制度システム整備事業 407 万 2,000 円は、マイナンバーカード所有者の転出、転入手続きのワンストップ化事業に係るもので、令和 3 年度中に業務の完了が見込めないことから繰り越すもの
- * 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 9 億 2,756 万 2,000 円は、臨時特別給付金の申請期限が令和 4 年 9 月末までとなったことなどにより、令和 4 年 12 月まで実施する見込みとなったため繰り越すもの
- * 山陽地区公立保育所整備事業 220 万円は、家屋調査業務委託が入札不調となったため随意契約を締結したものの年度内に業務を完了できない可能性があるため、繰り越すもの
(主な質疑)
- * 「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の全体スケジュールはどうか」との質問に「非課税世帯については 5 月までに給付が大方終わる予定。家計急変世帯については申請期間が 9 月までとなっており、順次給付を行う」との答弁
- * 「入札が不調に終わった原因は何か」との質問に「何回か入札を行ったが、予定価格を下回る入札がなく、最低価格を示した業者と随意契約を締結した。歩掛に基づく積算で設計価格を決めており、積算誤りはない」との答弁

■分科会長報告概要■

	令和4年3月定例会
	一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）について
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等の取り急ぎ措置すべき案件についての補正である。
論点又は審査 によって明らか になった事項	<p>○4款 衛生費</p> <p>*1項3目環境衛生費 18節浄化槽設置整備事業補助金 759万8,000円の減額は、本年度の合併処理浄化槽の整備実績を考慮して不用額を減額するもの (主な質疑)</p> <p>*「公共下水道と合併処理浄化槽の普及率はどのくらいか」との質問に「公共下水道の普及率は57.6%、合併処理浄化槽の普及率は24.5%である」との答弁</p> <p>○6款 農林水産業費</p> <p>*1項1目農業委員会費 1節委員報酬 809万円の減額は、農地利用最適化交付金事業の成果実績に基づき能率給を減額するもの</p> <p>*1項4目農地総務費 18節多面的機能支払制度補助金 321万3,000円の減額は、農地転用による対象面積の減少と県負担金の内示割れによるもの</p> <p>*1項5目土地改良事業費 18節県事業負担金 666万5,000円の増額は、国の補正予算や補助率の変更などによるもの</p> <p>*3項3目漁港建設費 14節工事請負費 2,489万9,000円の減額は、埴生漁港整備事業の特定財源である県補助金の内示割れによる2,499万円の減額と刈屋漁港海岸保全施設整備事業の附帯工事費10万円の増額によるもの (主な質疑)</p> <p>*「担い手への農地集積分と遊休農地の発生防止分の単年度集積基準面積は毎年度同じ値なのか」との質問に「基準年度である平成25年度の値から算定しており、毎年度同じ値である」との答弁</p> <p>*「新規農業就業者定着促進事業でこれまで何人の就業者を受け入れたか」との質問に「延べ15人を受け入れた」との答弁</p>

○7款 商工費

*1項1目商工総務費 18節地方バス路線維持費補助金 991万2,000円の減額は、新型コロナウイルス感染症による運賃収入の減少が予想を下回ったため、減額するもの

*1項2目商工振興費 18節雇用奨励金 360万円の減額は、企業が雇用奨励金の要件に該当する雇用を行わなかったため、減額するもの。20節金融機関預託金 1,000万円の減額は、本市の融資制度を実施するために各金融機関に預け入れている預託金を実績に基づき減額するもの

(主な質疑)

*「バスの利用者はどのくらい減っているのか」との質問に「令和3年度のバス利用者は令和2年度に比べて6.8%、令和元年度に比べて23.9%減少している」との答弁

*「雇用奨励金について、当初の見込みと実績にどのくらい差があったのか」との質問に「3社で27人分の雇用を見込んで540万円を計上していたが、実績は2社で9人分の雇用があり180万円を支出した」との答弁

○8款 土木費

*1項1目土木総務費、18節県事業負担金 105万5,000円の減額は、県事業の精算に合わせて減額するもの

*2項1目道路橋りょう総務費、18節負担金補助及び交付金、県事業負担金 595万円の減額は、県事業の清算に合わせて減額するもの

※2項3目道路橋りょう維持費、12節調査設計委託料 63万8,000円の減額と14節工事請負費 209万1,000円の減額は、六ノ割ポンプ場の非常用発電機更新事業の落札減によるもの

*5項1目都市計画総務費、18節県事業負担金 1,100万円の減額は、都市計画道路新開作・二軒屋線の拡幅工事に伴う物件移転について、関係者との調整に時間を要したため実施できなかったことによるもの

*5項2目14節工事請負費 1,008万3,000円の減額は、江汐公園の電気設備工事・健康遊具設置工事、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場の健康遊具設置工事の落札減によるもの

(主な質疑)

*「拡幅工事に伴う物件移転について、関係者との調整とは何か」との質問に「県道を占有している物件の移設に伴う補償交渉である」との答弁

【繰越明許費】

○県営土地改良事業 1,201 万 1,000 円

○刈屋漁港海岸保全施設整備事業 3,060 万円

○駅舎バリアフリー化整備事業 2,870 万 5,000 円

○社会資本整備総合交付金事業 5,872 万 3,000 円

○道路更新防災等対策事業 3,707 万 4,000 円

○小野田港港湾整備事業 2,410 万円

○地図情報システム構築事業 3,300 万円

*都市計画基本図更新業務について、基本図データの作成に当たり、
国土地理院との協議に不測の日数を要したため。

○江汐公園電気設備改修事業 1,150 万円

*新型コロナウイルスの影響でブレーカーなどの電子部品の納入が
遅れているため。

○公共土木施設災害復旧事業 742 万 4,000 円

*適切な工期を確保するため。

(主な質疑)

*「なぜ年度内に適切な工期が確保できないのか」との質問に「災
害査定から工事の発注までに時間を要するほか、仮設道等を設置
するに当たり、地元と協議する必要があるため」との答弁

【地方債補正】

○農業施設整備事業債限度額 1,360 万円を 2,230 万円に増額するも
の

■分科会長報告概要■

		令和4年3月定例会
		一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	承認第1号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第16回）に関する専決処分について	
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分	
概 要	<p>今回の補正は、国の経済対策において、子育て世帯に対して、子ども1人当たり10万円相当の給付を行うこととされ、当初の制度設計では、昨年末に現金5万円を給付し、追加で給付する5万円相当分はクーポンにより給付することが示されていたが、その運用が見直され、残りの5万円相当分を、先行給付と合算して現金で一括給付することが可能となったことから、これを速やかに支給するための予算措置として、令和3年12月20日に専決処分を行ったものである。</p>	
論点又は審査 によって明らか になった事項	<p>【歳出】</p> <p>○ 3款 民生費</p> <p>*補正の主なものは12節システム改修委託料431万8,000円、9,080人に対する追加5万円の子育て世帯への臨時特別給付金4億5,400万円である。</p> <p>（主な質疑）</p> <p>*「給付金の振り込みは、10万円一括なのか、5万円ずつに分けたのか」との質問に「10万円を一括して振り込んでいる」との答弁</p> <p>*「DV等で避難されている方への対応はどうしているか」との質問に「現に養育している保護者に振り込んでいる」との答弁</p> <p>*「クーポンでなく現金にした意思決定はどのように行われたのか」との質問に「クーポンより現金のほうがいいという市民の声を参考に市長まで協議を行い決定した」との答弁</p>	